

1. 件 名：四国電力株式会社による核燃料輸送物設計承認申請（MSF-24P型及びMSF-32P型核燃料輸送物）に係る面談（15）

2. 日 時：令和2年6月22日（月）10時00分～11時15分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

大島部門付、東管理官補佐※、甫出主任安全審査官、

山後安全審査専門職、田口係員※

四国電力株式会社

原子力部 輸送・貯蔵グループリーダー 他6名※

三菱重工業株式会社 原子力セグメント

機器設計部 プラント機器設計課 主席技師 他1名※

5. 要 旨：

四国電力株式会社（以下「事業者」という。）から平成30年5月25日付けで申請のあった、MSF-24P型及びMSF-32P型核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認申請書について、以下のとおり面談を行った。

- （1）事業者から、資料に基づき、輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱い方法、規則及び告示に対する適合性の評価並びに遮蔽解析における質量減損に関して説明があった。
- （2）原子力規制庁から、説明内容について、必要部分を申請書に反映するよう伝えた。

6. その他：

【事業者からの配布資料】

資料1 令和2年6月15日の面談におけるコメントへの回答

資料2 (d)章F 規則及び告示に対する適合性の評価

資料3 (二)章 輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱い方法

資料4 (b)遮蔽解析における質量減損

以上